

編集部へ寄贈していただいた書籍

(2011年1月～2011年12月)

- 朝元照雄著『台湾の経済発展——キャッチアップ型ハイテク産業の形成過程——』勁草書房 2011, vi+247pp.
- 生田真人著『東南アジアの大都市圏——拡大する地域統合——』古今書院 2011, vii+241pp.
- 石垣直著『現代台湾を生きる原住民——ブヌンの土地と権利回復運動の人類学——』風響社 2011, 404pp.
- 石田勇治・武内進一編『ジェノサイドと現代世界』勉誠出版 2011, iv+485pp.
- 石塚迅・中村元哉・山本真編著『憲政と近現代中国——国家、社会、個人——』現代人文社 2010, 186pp.
- 猪口孝/ジャン・ブロンデル著 猪口孝訳『現代市民の国家観——欧亜18カ国調査による実証分析——』東京大学出版会 2010, xvii+219pp.
- 井野瀬久美恵・北川勝彦編著『アフリカと帝国——コロニアリズム研究の新思考にむけて——』晃洋書房 2011, vi+295+27pp.
- 上田元著『山の民の地域システム——タンザニア農村の場所・世帯・共同性——』東北大学出版会 2011, xvi+432pp.
- 宇佐見耕一著『アルゼンチンにおける福祉国家の形成と変容——早熟な福祉国家とネオ・リベラル改革——』旬報社 2011, x+312pp.
- 遠藤環著『都市を生きる人々——バンコク・都市下層民のリスク対応——』京都大学学術出版会 2011, viii+311pp.
- 大橋史恵著『現代中国の移住家事労働者——農村-都市関係と再生産労働のジェンダー・ポリティクス——』御茶の水書房 2011, xiii+304pp.
- 岡田実著『「対外援助国」中国の創成と変容——1949-1964——』御茶の水書房 2011, x+312pp.
- 小川さやか著『都市を生きぬくための狡知——タンザニアの零細商人マチングの民族誌——』世界思想社 2011, xi+386pp.
- 梶谷懐著『現代中国の財政金融システム——グローバル化と中央-地方関係の経済学——』名古屋大学出版会 2011, iv+250pp.
- 川島哲著『アジアの地域連携戦略』晃洋書房 2011, x+215pp.
- 川田敦相著『メコン広域経済圏——インフラ整備で一体開発——』勁草書房 2011, x+232pp.
- 木南莉莉・中村俊彦編著『北東アジアの食料安全保障と産業クラスター』農林統計出版 2011, vii+257pp.
- 木村宏恒・近藤久洋・金丸裕志編『開発政治学入門——途上国開発戦略におけるガバナンス——』勁草書房 2011, x+367pp.
- 小林一穂・劉文静編著『中国華北農村の再構築——山東省鄒平県における「新農村建設」——』御茶の水書房 2011, ix+310pp.
- 小林知著『カンボジア村落世界の再生』京都大学学術出版会 2011, vi+528pp.
- 駒形哲哉著『中国の自転車産業——「改革・開放」と産業発展——』慶應義塾大学出版会 2011, v+295pp.
- 笹川裕史著『中華人民共和国誕生の社会史』講談社 2011, +235pp.
- 清水一史・田村慶子・横山豪志編著『東南アジア現代政治入門』ミネルヴァ書房 2011, v+270pp.
- 徐一睿著『中国の財政調整制度の新展開——「調和の取れた社会」に向けて——』日本僑報社 2010, 216pp.
- 城山智子著『大恐慌下の中国——市場・国家・世界経済——』名古屋大学出版会 2011, v+349pp.
- 鈴木均著『現代イランの農村都市——革命・戦争と地方社会の変容——』勁草書房 2011, xvii+345+xxi pp.
- 添谷芳秀編著『現代中国外交の六十年——変化と持続——』慶應義塾大学出版会 2011, viii+313pp.
- 武田友加著『現代ロシアの貧困研究』東京大学出版会 2011, xii+247pp.
- 竹歳一紀・藤田香編著『貧困・環境と持続可能な発展——中国貴州省の社会経済的研究——』晃洋書房 2011, v+302pp.
- 谷川真一著『中国文化大革命のダイナミクス』御茶の水書房 2011, xii+227+xxiv pp.
- 陳友駿著『米中経済摩擦』晃洋書房 2011, viii+141+

- 15pp.
- 唱新著『資本蓄積と産業発展のダイナミズム——中国産業の雁行型発展に関する経済分析——』晃洋書房 2011, viii + 249pp.
- 長岡慎介著『現代イスラーム金融論』名古屋大学出版会 2011, vi + 249pp.
- 中里成章著『バル判事——インド・ナショナリズムと東京裁判——』岩波書店 2011, v + 238 + 8pp.
- 農畜産業振興機構編『中国野菜産地の変貌』農林統計出版 2011, ix + 296pp.
- 平井京之介著『村から工場へ——東南アジア女性の近代化経験——』NTT出版 2011, iii + 257pp.
- 広瀬崇子・北川将之・三輪博樹編著『インド民主主義の発展と現実』勁草書房 2011, xix + 284pp.
- 廣田義人著『東アジア工作機械工業の技術形成』日本経済評論社 2011, iv + 286pp.
- 洪紹洋著『台湾造船公司の研究——植民地工業化と技術移転（1919-1977）——』御茶の水書房 2011, vi + 292pp.
- 三谷孝編著『中国内陸における農村変革と地域社会——山西省臨汾市近郊農村の変容——』御茶の水書房 2011, xiv + 351pp.
- 文浩一著『朝鮮民主主義人民共和国の人口変動——人口学から読み解く朝鮮社会主義——』明石書店 2011, vi + 411pp.
- 山口裕子著『歴史語りの人類学——複数の過去を生きるインドネシア東部の小地域社会——』世界思想社 2011, vii + 396pp.
- 山本有造著『「大東亜共栄圏」経済史研究』名古屋大学出版会 2011, xii + 292pp.
- 巖善平著『中国農民工の調査研究——上海市・珠江デルタにおける農民工の就業・賃金・暮らし——』晃洋書房 2010, iv + 280pp.
- Dan Slater, *Ordering Power: Contentious Politics and Authoritarian Leviathans in Southeast Asia*, Cambridge University Press, 2010, xviii + 319pp.
- Yamamoto Hiroyuki, Anthony Milner, Kawashima Midori and Arai Kazuhiro eds., *Bangsa and Umma: Development of People-grouping Concepts in Islamized Southeast Asia*, 京都大学学術出版会 2011, ix + 279pp.